

2026 FIRST-HALF

CLINICAL QUALITY REPORT

大腸内視鏡診療の質を、 数字で確かめ、次の診療へ。

2026年1月から6月までの314件を記録・検証し、診療品質を可視化しました。

314

大腸内視鏡検査

99.4%

CIR

61.1%

ADR

80.6%

PDR

半期の診療を、ひと目で。

検査数、完遂性、挿入、検出、治療、データ検証を同じ定義で確認しています。

314件

大腸内視鏡

確定検査数

99.4%

CIR

307 / 309

3.39分

平均TCS

complete 307

96.4%

5分以内到達

complete 307

61.1%

ADR

全314件の粗率

80.6%

PDR

全314件の粗率

431病変

切除病変

治療病変

314/314

Validation

全件完了

数字の読み方

CIRは評価可能な309件を分母としています。PDR・ADR・SSLDRは全314件を分母とする粗率です。単月の上下だけで診療の良し悪しを判断せず、症例構成とデータの完全性を確認しながら継続的な品質改善に活用します。

大腸の奥まで到達できたか。 そこまで、どのくらいの時間を要したか。

完遂性と挿入時間を別々に確認しています。

99.4%

CIR（盲腸到達率）

307 / 309件

評価対象外

5件

術後吻合部まで3件、閉塞性進行癌による通過不能2件

評価対象

309件

CIRを評価可能と判断した検査

未到達

2件

高度癒着・疼痛1件、強い不安・パニック1件

3.39分

平均盲腸到達時間

complete 307件

96.4%

5分以内に到達

complete 307件

3分

中央値

IQR 3-3分

挿入時間の短さそのものを品質目標としているわけではありません。無理な挿入を避けながら盲腸まで到達し、到達後に大腸粘膜を丁寧に観察することを重視しています。

見つける力を、複数の指標で。

検出率は全大腸内視鏡検査314件を分母とした粗率です。

PDR

80.6%

ポリープや腫瘍性病変が見つかった検査の割合

ADR

61.1%

通常型腺腫が見つかった検査の割合

SSLDR

11.1%

SSA/PまたはTSAが見つかった検査の割合

MAP

1.04

検査1件あたりの通常型腺腫の平均病変数

見つけた病変を、適切な治療へ。

切除病変はCSP、EMR、Polypectomyの合計です。生検は含みません。

431

切除病変

408

CSP

12

EMR

11

Polypectomy

月別切除病変数

1月

60

2月

77

3月

75

4月

78

5月

62

6月

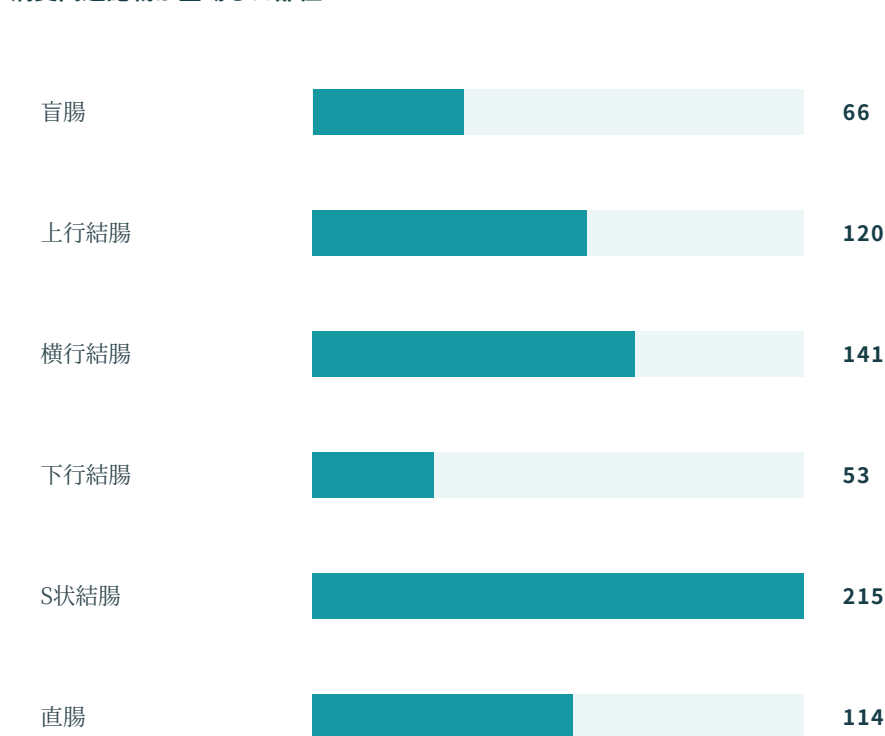
79

全CS当たり1.37病変、切除検査当たり1.88病変。手技が明示されない病変は推定計上せず、記録に基づいて集計しています。

病変の部位と、病理の集計。

症例ごとの記載ではなく、半期全体の傾向として示しています。

病変関連記載が登場した部位



部位記載を抽出できた241検査の部分解析です。数値はポリープの実個数ではなく、各部位が病変関連記載に登場した回数です。

病理・腫瘍の集計



数字を誠実に扱うための、公開方針。

できることだけでなく、現時点で判断できないことも明確に示します。

314 / 314件

全件の整合性確認を完了

01 病理データ

1月と2-6月では構造化の粒度が異なります。

02 光学診断

明示記載例のみを対象とする部分解析です。

03 安全性

未記載を「合併症なし」として扱っていません。

04 Withdrawal Time

上半期は算出せず。2026年8月中旬から前向き記録を開始しています。

05 CIR

術後吻合部までの症例と閉塞性進行癌による通過不能例は評価対象外です。

06 月別変動

増減だけから因果関係や改善・悪化を推論していません。

月別指標を、同じ定義で確認。

完遂性・挿入と病変検出を分けて確認します。

挿入・完遂指標

月	CS	CIR対象	到達	CIR	平均TCS
1月	49	49	49	100.0%	2.98
2月	53	50	50	100.0%	3.54
3月	49	49	48	98.0%	3.13
4月	62	61	60	98.4%	3.50
5月	44	43	43	100.0%	3.53
6月	57	57	57	100.0%	3.60
累計	314	309	307	99.4%	3.39

病変検出指標

月	PDR	ADR	SSLDR	MAP
1月	69.4	49.0	8.2	0.98
2月	81.1	58.5	13.2	0.92
3月	89.8	63.3	6.1	1.16
4月	77.4	62.9	16.1	1.06
5月	86.4	72.7	9.1	1.14
6月	80.7	61.4	12.3	1.00
累計	80.6	61.1	11.1	1.04

指標の定義と、次の改善へ。

同じ定義で記録し、振り返り、次の診療につなげます。

CIR	盲腸または回腸末端到達検査 / CIR評価対象検査。
TCS / Cecal insertion time	complete colonoscopyにおける挿入開始から盲腸または回腸末端到達までの記録時間。
PDR	ポリープ陽性検査 / 全CS検査。本文の明示記載・治療・生検を用いた粗率。
ADR	通常型腺腫陽性検査 / 全CS検査。病理構造化値による粗率。
SSLDR	SSA/PまたはTSA陽性検査 / 全CS検査。病理構造化値による粗率。
MAP	通常型腺腫病変数 / 全CS検査。
切除病変	CSP + EMR + Polypectomy。Biopsyは除外。
病理カウント	最終病理の病変 / 検体分類。内視鏡病変数とは別階層。

CONTINUOUS QUALITY IMPROVEMENT

一件一件の診療を記録し、振り返り、次の診療へつなげる。

診療品質の可視化と改善を継続します。